



豊かな自然・
かがやく文化
大好き阿賀町

～「阿賀町15年教育」で未来の創り手を育む～

阿賀町学習指導センターだより

令和3年6月25日（金）№6

授業づくり研修より vol. 2 ～津川小 柳下 岬 先生～

6月16日(水)、津川小柳下岬先生の学級訪問、授業づくり研修を行わせていただきました。学級の雰囲気がとても柔らかく、柳下先生の笑顔と子どもたちの笑い声であふれていました。

普段から「自力解決⇒ペア(またはグループ)での共有」⇒「全体共有」という学習過程で授業を構成していらっしゃるのでしょうか。子どもたちのスムーズに学習に取り組んでいる様子が見られました。



4年算数単元「垂直・平行と四角形」の第1時間目を参観させていただきました。

導入。「夏の大三角」「オリオン座」を提示されました。子どもたちにとって身近な星座です。口々に「知っている！」と子どもたち。一気に学習へ引き込みました。「星座」の提示が、次の「点と点を結ぶ」活動へつながっていきます。とても素晴らしい導入でした。



ロイロノート上での作業。柳下先生は、点と点を結ぶときの条件を「2本まで」と指示します。これにより、「垂直」と「垂直ではない」2本の直線の関係が現れてきます。その後、タブレット上に表したものを「プリントへの記入」させます。ここで定規を使って直線をかき活動が保障されます。

そして、「プリント」へ記入させたことが、次の比較する活動へつながり、「垂直」の定義を明らかにしていくのです。



「タブレット端末と紙媒体(プリント、ノート)をその目的に応じ活用する」モデルケースになりますね。全体を通じて、学習活動のつながりに無理がありませんでした。また、「定義を共有し、それを活用した課題へチャレンジするという授業構成」は、ぜひ参考にさせていただきたいです。



学校訪問より vol. 4 ～三川小 齋藤 崇人 先生の授業～

1年算数単元「のこりはいくつ ちがいはいくつ」の第4時間目の授業です。本時のねらいは、「図を用いることで最初の数より残りの数が減っていることに気付き、式に表すことができる。」です。



授業開始から集中して取り組む子どもたち。

授業が始まるのを静かに待っていた子どもたち。そして、課題に向き合い、粘り強くあきらめずに解決していた子どもたち。主体的に取り組む態度がすばらしかったです。

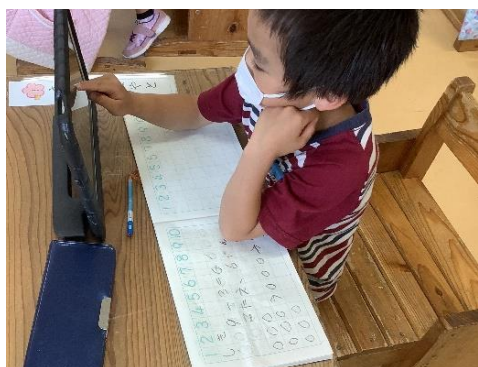
齋藤先生は、1年生の発達段階を考慮し、子どもたちが主役となって学習できるよう、実践されていました。

問題提示の場面。「こまったな～。」「どうしよう。」と、齋藤先生は、子どもの注意を引きます。子どもたちが注意を向けてくると、「6年生の先生から問題を出されたんだけど、答えられなくて。みんな、助けてくれる?」。子どもは「うん」と。これを受け、齋藤先生は、すかさず、問題を提示します。子どもたちが学習の主役となった瞬間でした。

また、子どもたち一人一人が「分かる喜び」を実感できるよう、子どもとの対話を大事になさっています。対話の中で、齋藤先生は、子どもたちの考えを「いいね。」「よく考えついたね。」とほめていらっしゃいました。先生との対話の後、課題を解決できた子の満足げな表情が、とても印象的でした。

子どもたちの考えを受容し、子どもたちの学びへの不安を取り除き、自信をもたせる関わり方は大切ですね。

次の時間、子どもたちと齋藤先生はどのような授業を紡ぎだしたのでしょうか。お話をうかがうのが楽しみです。



課題を確認し、取り組む。



先生との対話で自分の考えを見直す。

子どもたちの話をじっくりと聴き、問い返して子どもに自己内対話を促すことは、「自己調整」の営みにとってとても大切です。そして、一人一人の学びを大切にする姿勢は、教師としての根幹を成すものです。「主体的・対話的」な学びを創り出すことに重要です。



発行 阿賀町学習指導センター

住所 〒959-4392 東蒲原郡阿賀町鹿瀬 8931 番地1

電話 0254-92-3337 FAX 0254-92-2116

E-mail kohiyama_hyk4042@town.aga.lg.jp kyoiku3@town.aga.ed.jp



町の鳥 ウグイス